

市 政 報 告

はじめに、環境プラザの刺激臭発生事案についてであります。

2月8日、午後2時頃、環境プラザプラットホーム内において、作業員より、目が痒い症状があると報告があり、作業員全員が外に避難する事案が発生しました。

ただちに消防署に通報し、プラットホーム内で作業していた13人の体調確認を行い、目に痛みのある4人の作業員を病院へ搬送しました。搬送された4人は、目を洗浄後、当日中に環境プラザに戻ってきております。

なお、その日は持込ごみの受入日でないため、市民の方はおりませんでした。

刺激臭の原因は、可燃粗大ごみを確認したところ、農薬クロルピクリンの瓶が発見され、他に危険と思われる廃棄物が見当たらなかったことから、この農薬が可燃粗大ごみに付着し揮発したことにより、目に刺激を与えたと推察されます。

次に、最近の市政について報告いたします。

○ 能登半島地震への対応について

1月1日に発生した能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

本市においては、当日、3庁舎の震度計は「震度3」を記録し、気象庁から本県沿岸部に津波注意報が発表されたため、にかほ市災害警戒部を設置し、防災行政無線等により市内沿岸部を対象に避難指示を発令しております。

同時に、象潟・金浦・仁賀保の各公民館を避難所として開設し、延べ131世帯、209人の方々を受け入れたほか、多くの方々が車で高台へ避難され、自主的に自治会館を開放した自治会もありました。なお、公民館の避難所で夜間を過ごされた方々には、毛布や非常食などを提供しております。

翌日午前には避難指示を解除し、市内では被害は確認されませんでした。今後の対策に向けて、今回の対応等を検証しているところであります。

なお、被災地の方々を支援するため、1

次に令和6年度市税の現年課税分予算については、

- ・個人市民税、9億7,413万円
- ・法人市民税、1億3,022万円
- ・固定資産税、14億2,810万円と見込んでおります。

個人市民税は、製造業の一部で好調な動きがあるものの、給与所得が微減傾向にあるため、前年度・当初比で約0.2%（約217万円）の減と見込んでおります。

法人市民税は、現時点での状況からコロナ禍前の調定額まで回復の傾向にあり、前年度・当初比で約2.8%（約359万円）の増と見込んでおります。

固定資産税は、土地の評価額が下げ止まり傾向にあり、家屋は物価高の影響による増加や若干の償却資産の新たな設備投資を見込んでいるため、前年度・当初比で約2.4%（約3,411万円）の増と見込んでおります。

○ キャッシュレス決済サービスの

しかしながらふるさと納税による寄附については、大変貴重な財源であることから、制度に合わせた既存返礼品の内容の見直しと、時節のニーズを捉えた新規返礼品の開発など、今後も寄付の増加に向けた取り組みを進めて参ります。

○ 住民税非課税世帯等に対する給付金について

エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担を軽減するため、国や県の補助財源を活用しながら、令和5年度住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり7万円を追加支給する住民税非課税世帯支援給付金と、1世帯当たり8千円を支給する灯油購入費等助成金を実施しております。

支給対象者のうち、昨年8月に3万円を支給した住民税非課税世帯については、プッシュ方式での振込みは2月8日で2,366世帯に支給を完了しております。プッシュ方式の対象外となった住民税非課税世帯と、住民税非課税世帯に未申告者や転入者が含まれる世帯の254世帯については、1月末から申請書類を送付し、順次、申請受付・審査の上、2月22日から支給を開始します。

○ ハタハタ漁について

今季の県内のハタハタ漁獲量は、沖合・沿岸合わせて約 110 トンで、禁漁が明けた平成 7 年以降最少となりました。

本市においても、沖合・沿岸合わせて 5.3 トン（前年比 17 トン減）にとどまり、記録的な不漁となっております。

県水産振興センターでは、海水温の上昇など環境変化の影響が大きいとしておりますが、今後の管理方法については、手探り状態とのことであります。

○ にかほ市フェアの開催について

1 月 27 日と 28 日の 2 日間、千葉県の食料品スーパー「せんだう」木更津店と袖ヶ浦店で、「秋田県にかほ市フェア」を開催しました。

せんだうは、千葉県内で

○ 市内の経済状況について

昨年 10 月から 12 月の景況調査では、依頼した 68 社のうち 60%にあたる 41 社から回答がありました。全体としては前年同期と比較して「好転」が 9 社「横ばい」が 15 社、「悪化」が 17 社となっております。

市内の主力産業である製造業においては、前年同期と比較して「好転」が 2 社、「横ばい」が 3 社に対し、「悪化」は 13 社と前回調査時と比較すると「好転」や「横ばい」が若干増となったものの、「悪化」は引き続き高い水準にあります。

物価高騰による販売経費上昇などの影響が依然大きく、引き続き注視して参ります。

○ 市内の雇用状況について

ハローワーク本荘管内の有効求人倍率は、11 月末現在で 1.12 倍となり、1

○ にかほ市生活応援商品券「にかほっぺんクーポン」事業について

エネルギー・食料品価格等の物価高騰が長引き、家計の負担が大きくなっていることから、消費の下支えをするため全市民に、にかほ市生活応援商品券「にかほっぺんクーポン」の無償配布を実施しました。

昨年10月中旬から12月31日まで実施し、市民一人当たり3,000円分、合計6,785万4,000円分の商品券を郵送し、うち6,574万9,000円分(96.9%)が市内加盟店で利用されております。

○ 外国人技能実習生交流事業について

人口減少等による労働力不足を補うために、市内企業では製造業を中心にベトナムやインドネシアからの外国人技能実習生約50人を受け入れております

体験ツアーの先行予約会などを開催しました。

今後も、移住相談会等の開催や地方移住に関する様々な相談への対応に加え、移住してきた方々に対するサポート体制やイベントの開催など、きめ細かいサポートを通じて、移住定住を促進して参ります。

○ にかほ市アウトドア拠点施設について

アウトドア拠点施設整備の進捗状況は、現在、外壁工事が完了し、内装工事及び電気・機械設備の工事に入っております。

しかし、昨年後半から電気工事の電線ケーブルが品薄状態となっており、現在メーカー側の受注停止から再開の動きがみられるものの、納入時期が大幅に遅れる見込みとなっております。そのため、工事の完了は5月上旬頃になり、施設のオープンも6月にずれ込むものと見込んでおります。

<

○ スポーツ賞及び健康スポーツ賞表彰について

令和５年度文部科学大臣表彰 生涯スポーツ功労者に NPO 法人 BS スポーツクラブにかほ 理事長 柴田鐵四郎氏が受賞されました。永年にわたり地域のスポーツ振興に貢献され表彰されております。

２月 10 日には、にかほ市スポーツ協会主催で「令和５年度にかほ市スポーツ賞及び健康スポーツ賞」の表彰式が、仁賀保勤労青少年ホームにおいて開催され、功労賞 2 名、栄光賞は 19 名と 3 団体、奨励賞は 10 名と 6 団体、健康スポーツ賞 2 名の計 33 名と 9 団体が受賞しております。

本市、又は本市出身のアスリートたちが、東北大会、全国大会で活躍しており、今後の更なる飛躍を期待しております。